

合格体験記 (A O 方式入学者選抜)

第 I 項 表象文化 学部 日本語 日本文 学科

出身高校名 新潟清心女子高等学校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

同志社女子大学には古くからの歴史や文化が残る京都の恵まれた環境を生かした「京都研究科目」があり、五感を使い、肌で感じながらより深く古典や日本文化を学びたいと思ったからです。また、中高6年間、キリスト教主義の下での学びを通して多くの大切なことを身につけることが出来たので、引き続きキリスト教主義の下に身を置き、学びを深めたいと思ったことも選んだ理由の一つです。

(2) A O 方式入学者選抜を受けようと思った理由。

私は高校最初の進路調査の時点で同志社女子大学への入学を強く希望していました。AO入試は学びたいという熱意を自分自身の言葉で直接伝えることが出来ます。なぜ、何を、どのように学びたいのかがはっきりとし、I項の条件である宗教活動の経験が豊富にある私にとって、最適な入試方法だと考えたからです。

(3) A O 方式入学者選抜においてアピールした活動、経歴、資格等。

キリスト教の精神に基づいた活動で経験してきたことをアピールしました。ただ単に行ってきた宗教活動の羅列にならないように、その活動の経験を通して何を感じ、何を学んだのか、そしてそれをこれからの人生で、社会でどう生かすのかについても具体的に触れることを意識しました。

(4) 出願書類作成や面接で心がけた点。

〔出願書類作成〕

妥協のない完璧な書類を提出するために、多めに書類を手に入れました。書類審査では実際に会わずに書類だけで自分の熱意を伝えなければいけません。誤字・脱字なく丁寧に書くことはもちろん、少ない字数で書類の向こう側の自分をどれだけ表現できるかがポイントです。先生方に的確なアドバイスをして頂き、自分自身で納得できるまで何度も何度も書き直し、推敲を重ねました。

〔面接〕

先生や友人、家族に協力してもらい、目を見て笑顔で端的に答えることを意識して練習しました。提出書類を穴が開くほど読み込み、その内容をそれぞれ1分以内に述べられるようにしました。言葉を暗記するのではなく、自分の言葉で伝え、会話のキャッチボールをすることが大切だと思います。また、常に社会情勢に興味を持ち、自分の学びたい分野との関わりを考えることも大切だと感じました。

(5) 選抜を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

AO入試で何よりも大切なのは、「ここで学びたい」という思いです。その思いは、時にモチベーションにもなります。また、この入試は決して簡単ではなく、大きな壁にぶつかる時が来るかもしれません。しかし、みなさんは1人ではありません。周りには全力で応援し、支えてくれる人が必ずいます。私も、家族、友人、先生方などたくさんお世話になりました。人間は1人で生きることは出来ず、多くの人に支えられています。このことを忘れず、常に感謝の気持ちを持っていてください。努力は無駄にはなりません。応援しています!!